

# 土壌・地下水の調査・対策

法の遵守はもとより、土壌・地下水に対する社内ルールを策定し、自主的な活動を推進するとともに、積極的に情報を公開していきます。

## 土壌・地下水汚染問題への対応

富士通グループでは、2006年に土壌・地下水問題の対応を定めた社内ルールを見直し、「土壌・地下水の調査、対策、公開に関する規定」を新たに制定しました。今後も、本規定に基づき、行政と連携して情報公開を行うとともに、計画的な調査を行い、汚染が確認された場合は、浄化を実施していきます。

### 2006年度に実施した土壌・地下水調査、対策状況

2006年度は、5事業所の土地売却計画の推進や建屋一部解体などを契機として、土壌・地下水調査または、浄化対策を実施しました。各事業所の調査・対策状況は、以下のとおりです。

また、旧南多摩工場、小山工場、須坂工場、信越富士通(株)、(株)PFU、神地社宅の近隣住民の方々へ、汚染状況や今後の対策についての説明を行いました。

#### ● 小山工場(栃木県小山市)

過去の土壌・地下水調査にて、VOC、重金属類の汚染が確認されており、継続的な地下水の状況調査と、浄化対策(シアン不溶化部分の掘削除去など)を実施しています。また、新たな対策を検討するため、敷地全体の土壌・地下水調査を実施しています。

#### ● 小山工場外城分室(栃木県小山市)

焼却灰混入土壌の掘削除去を完了しました。

#### ● 須坂工場(長野県須坂市)

建屋解体に伴う土壌・地下水調査により、VOC、重金属、農薬などの土壌汚染が確認されました。地下水汚染については、PCBが確認されましたが、汚染が確認された場所の下流側井戸並びに工場敷地外の下流域で地下水の調査を行いました。汚染の拡散はありませんでした。今後は、汚染が確認された場所の浄化対策を実施していきます。

#### ● (株)PFU 南羽咋遊休地(石川県羽咋市)

フッ素の浄化工事に伴う、詳細調査を実施し、浄化対策を2007年1月より実施中です。

#### ● 富士通神地社宅(神奈川県川崎市)

社宅解体に伴う、土壌・地下水調査の結果にて、重金属類の土壌汚染が確認されたため現在、掘削除去工事を実施中です。また、地下水調査の結果、汚染は確認されませんでした。

### 地下水の状況

2007年3月末までに、土壌・地下水汚染が確認されている事業所のうち地下水による汚染の敷地外への影響を監視している観測井戸において、2006年度内に法規制を超える測定値が確認された物質の最新の測定値で最大のものを記載しています。

事業所名	所在地	浄化状況	観測井戸最大値(mg/l)		規制値(mg/l)
			物質名	測定値	
川崎工場	神奈川県川崎市	VOCの揚水曝気による浄化を継続中	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.585	0.04
			砒素	0.018 <sup>*1</sup>	0.01
旧南多摩工場	東京都稲城市	敷地全体の現位置鉄粉混合法による浄化工事を実施中	テトラ	0.272 <sup>*2</sup>	0.01
			シス-1,2-ジクロロエチレン	0.574 <sup>*2</sup>	0.04
小山工場	栃木県小山市	VOCの揚水曝気等による浄化を継続中 重金属類の掘削除去中	トリクロロエチレン	1.917	0.03
			シス-1,2-ジクロロエチレン	6.24	0.04
			シアン	0.2	検出されないこと
須坂工場	長野県須坂市	2007年6月より対策を実施	PCB	0.0012	検出されないこと
信越富士通	長野県上水内郡信濃町	VOCの揚水曝気による浄化を継続中	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.077	0.04

<sup>\*1</sup> 川崎工場の砒素については、最大値が検出された観測井戸周辺では検出された物質の使用履歴がないため、自然由来によるものかを調査中です。

<sup>\*2</sup> 旧南多摩工場については、現在敷地境界に揚水井戸を設置し、地下水汚染の敷地外への拡散防止対策をしながら、敷地全体の浄化工事を実施中です。このため観測井戸による監視は一時中断していますので、記載内容は、前年報告した基準値超過物質の数値としています。

富士通グループの土壌・地下水汚染問題への取り組み概要、国内事業所における地下水汚染の調査結果と浄化対策状況についてはこちらに掲載しています。



土壌・地下水汚染問題への取り組み

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/activities/factories/gwater/index.html>